

## 第 26 回根研究集会に参加して

木富 悠花

名古屋大学大学院生命農学研究科

第 26 回根研究集会が 5 月 12 日～13 日に九州沖縄農研久留米研究拠点にて行われ、「根」という共通点を持ちつつも様々な分野にまたがる研究の成果を口頭発表とポスター発表で聞かせていただきました。私はイネを研究材料として扱っていますが、それ以外の作物あるいは樹木の根に関してあまり広い見聞を持っているとは言えません。また、自分の研究材料であるイネについてもまだ知らないことがたくさんあります。根研究集会には今回初めて参加したのですが、自分が行っている研究とは異なった分野・研究材料における「根」に関する知見や自分とは違った角度からの「根」に対する考察に触れることができたのではないかと思います。

根は土壌中に存在しているがために私たちの目に触れにくく、植物体においてブラックボックス的な組織のように感じます。しかし養水分の吸収やストレスの回避など植物が生きていく上で必要不可欠な役割を担っており、また植物と生物あるいは植物と土壌との大切な相互関係の場でもあります。このような重要な役割を果たしている根についての研究が進み、そしてその知見が現場へと応用されていくことでさらなる生産性の向上が期待できるのではないかと、そんなことを感じさせるような研究集会であったように思います。加えてたくさんの根研究会員の方と話をする機会もあり、知見以外に人脈も広げることができたという点も私にとって非常にプラスになったのではないかと考えています。

出口 崇

名古屋大学大学院生命農学研究科

第 26 回根研究集会が 2007 年 5 月 12-13 日に、福岡県久留米市の九州沖縄農業研究センター久留米研究拠点において開催されました。研究集会開始前には、天候に恵まれ陽気な日差しが降り注ぐもと、場内圃場案内をしていただき、長旅に疲れた体をリフレッシュさせていただきました。

私は今回根の研究集会に初めて参加させていただき、さらに自分自身初めてのポスター発表ということで少々緊張していました。しかし、口頭発表を聞いているうちに段々と気持ちが高まってきて、ポスター発表の開始時間ごろには、早く自分の研究について発表したいという思いでいっぱいになっていました。

自分のポスター発表にはイネ科作物、マメ科作物、また森林を専門にする方など、様々な分野の方に来ていただき、私の研究について熱心に聞いていただきました。さらにはそれまで知らなかった、根についての新たな知見を得ることもでき、非常に参考になりました。研究について一通り話し終わった後、聞いてくださった方が「面白そうな実験だね」、とか「実験楽しいでしょ?」とか言ってくださったのが非常に嬉しくて、もっと研究をがんばろうという思いを抱くことができたのが一番の収穫だったように思います。ポスター発表の後には懇親会が行われ、色々な人にさらに詳しく話を聞くことができ、私の研究生活において非常に有意義な 1 日を過ごせたと思います。

最後になりましたが根研究会、根研究集会のますますの発展を心より願っております。